

大地の芸術祭コース

発行 十日町市観光交流課
〒948-0079 十日町市旭町251番地17
TEL.025-757-3100 FAX.025-757-2285

A フィヒテ (唐檜)

森の中のこの小さな図書館には、文学や哲学、童話などドイツの書籍が収められている。

作家…トビアス・レーベルガー(ドイツ)
制作年…2003年
公開期間…4月下旬(雪どけ後)～11月中旬



トビアス・レーベルガー「フィヒテ 唐檜」(Photo by Osamu Nakamura)

B まつだいスモールタワー

メッシュ構造の3階建て展望台。階段を昇ると、町の中心部とその背後の山が見られる。

作家
ペリフェリック(フランス)

制作年
2003年

公開期間
4月下旬(雪どけ後)～
11月中旬



ペリフェリック「まつだいスモールタワー」(ANZAI)

C かかしプロジェクト

棚田に立ち並ぶ真っ赤なかかし。両手を広げていたり、赤ちゃんを抱いていたりと、棚田で働く人やその家族を表す。

作家…大岩オスカル(ブラジル/アメリカ)
制作年…2000年
公開期間…4月下旬(雪どけ後)～11月中旬



大岩オスカル「かかしプロジェクト」(ANZAI)

D ○△□の塔と赤とんぼ

青い空を背景とした、高さ14メートルもの赤とんぼの塔は、松代城山のランドマーク的存在だ。

作家…田中信太郎(日本)
制作年…2000年
公開期間…通年



田中信太郎「○△□の塔と赤とんぼ」(ANZAI)

E リバース・シティー

松代城山に現れた、太い柱に吊るされた大きな鉛筆の群れ。一本一本には世界の国々の名前が書かれている。

作家…パスカル・マルティン・タイユー
(カメルーン/ベルギー/フランス)
制作年…2009年
公開期間…4月下旬(雪どけ後)～11月中旬



パスカル・マルティン・タイユー「リバース・シティー」(Takenori Miyamoto+Hiromi Seno)

F 棚田

伝統的な稲作の情景を詠んだテキストと、対岸の棚田に農作業をする人々の姿をかたどった彫刻。農舞台内の展望台から見ると、詩と風景、彫刻作品が融合した形で現れる。

作家…イリヤ&エミリア・カバコフ(ロシア)
制作年…2000年
公開期間…4月下旬(雪どけ後)～11月中旬



イリヤ&エミリア・カバコフ「棚田」(Photo by Osamu Nakamura)

G まつだい「農舞台」

建物や部屋それ自体が、複数の作家がデザインしたアート作品。郷土料理をアレンジした料理が楽しめるレストラン「越後まつだい里山食堂」も併設

〒十日町市松代3743-1
☎025-595-6180
休 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
※大地の芸術祭会期中は無休
開 10:00～17:00(入館は16:30まで)
※大地の芸術祭会期中は9:00～18:30
料 無料 ※大地の芸術祭会期中のみ
大人800円、小中学生 無料



MVRDV「まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」」(ANZAI)

H 花咲ける妻有

まつだい駅で降りる人々を水玉模様で色鮮やかな巨大な花のオブジェが迎える。草間自ら「私のお気に入りナンバーワン」と語る作品だ。

作家…草間彌生(日本)
制作年…2003年
公開期間…4月下旬(雪どけ後)～11月中旬



草間彌生「花咲ける妻有」(Photo by Osamu Nakamura)